

甲斐市議会改革特別委員会会議録

1. 開催日時 平成28年10月17日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（5名）

委員長	保坂芳子君	松井豊君
	斉藤芳夫君	有泉庸一郎君
	三浦進吾君	

議長 小浦宗光君

欠席委員（1名）

副委員長 赤澤厚君

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	岩下和也	書記	山岡広司
書記	小澤裕一	書記	有野恵里

議題

- 1 市民と議会の対話集会について
- 2 その他

開会 午前 9時59分

○書記（山岡広司君） 改めまして、おはようございます。

議会改革特別委員会ということで、ご参集ご苦労さまです。

本日の内容につきまして、市民と議会の対話集会についてということで、竜王地区、双葉地区でそれぞれが行います内容を確認していただき、全員協議会のほうへ報告したいと思っておりますので、よろしくお願いをしたいと思っております。

それでは、まず最初に保坂委員長より挨拶をいただきます。よろしくお祈りいたします。

○委員長（保坂芳子君） おはようございます。

何だか急に寒くなりまして、風邪をひいてしまいそうな感じなので、十分体調に気をつけていきたいと思っております。

それでは、今から竜王地区と双葉地区のいよいよ対話集会が始まりますので、しっかりと取り組んで、来ていただいた方によかったと言われるような対話集会にしていきたいと思いますので、どうかよろしくお祈りいたします。

○書記（山岡広司君） ありがとうございます。

続きまして、小浦議長より挨拶をいただきます。よろしくお祈りいたします。

○議長（小浦宗光君） どうもおはようございます。

先週の金曜日、14日には皇太子殿下がこの信玄堤をご視察に来られました。

きょうはまた議会改革特別委員会で市民と議会の対話集会についてご協議をお願いするということで、よろしくお祈りいたします。

○書記（山岡広司君） ありがとうございます。

それでは、進行につきましては、保坂委員長の進行でよろしくお祈りいたします。

○委員長（保坂芳子君） ただいまの出席委員は5名です。定足数に達しておりますので、これより議会改革特別委員会を開会いたします。

なお、赤澤委員におかれましては欠席の連絡がありましたので、報告いたします。

○委員長（保坂芳子君） それでは、本日の会議を開きます。

それでは、議題に入ります。

初めに、市民と議会の対話集会について、それを議題といたします。

それでは、実施要綱につきまして、事務局より説明をお願いいたします。

山岡係長。

○書記（山岡広司君） それでは、市民と議会の対話集会実施要綱ということで資料があるかと思ひます。見ていただきたいと思ひます。

今回のこの要綱につきましては、それぞれ竜王地区、双葉地区の班長さんにはご足労いただきまして、対象地区、また2区を設定していただきました。その内容等を掲載させていただきましたので、本日、この議会改革で内容等を確認し、またご検討していただきたいと思ひますので、よろしくお願ひをしたいと思います。

それでは、まず開催時期及び場所ということで、竜王地区につきましては、11月14日月曜日7時より中八幡の公会堂で行いたいと思ひます。対象地区につきましては、上八幡、中八幡、新居、仲新居、上篠原、5地区を対象にしたいと思いますので、よろしくお願ひをします。

続きまして、双葉地区につきましては、11月26日の土曜日7時より新田公民館で行いたいと思ひます。対象地区については、新田地区ということでお願ひをしたいと思います。

次に、報告内容ということで、今回、パワーポイントの報告内容なんですが、前回同様、まず議会の報告ということで、議会の役割について、また議会改革の取り組みについてということで報告をし、その後、各地区でテーマを決めていただき、これに基づいて意見交換会をしていきたいと思ひますので、こちらのほうをまた今回決めていただければと思ひますので、よろしくお願ひします。

次に、班編成、班構成ですけれども、まず班編成は、竜王地区と敷島・双葉地区ということで、それぞれの議員さんに分かれていただきたいと思ひます。議長、副議長については除くということでお願ひをします。それぞれの地区に班長を置くということで、今回、竜王地区に斉藤議員、双葉地区については三浦議員のほうでお願いをしていきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

なお、班構成については、こちらのほうに書いてありますので、竜王地区が9人、敷島・双葉地区で11人ということでお願ひをしたいと思います。

次に、役割分担ということで、役割については、まず班長、次のページをめくっていただきまして、司会者、説明員、パソコンの操作、記録係、受付ということで、前回同様な形でそれぞれ担当していただいて、お願ひをしたいと思います。

次に、市民への周知方法ということで、チラシの作成をさせていただきます、対象地区へ配布をするということで自治会長のほうへお願いをして、回覧等で対応していきたいと思っております。

次に、市民と議会の対話集会の進め方についてということで、これも前回同様になりますけれども、2時間程度を目標に行いたいと思います。まず、次第として、進行を司会者、開会、開会の挨拶、議長挨拶、自己紹介をしていただき、議会からの報告、意見交換、その他、閉会ということで、おおむね2時間を予定していきたいと思います。

あと、7番に準備用品ということで12項目ほどありますので、ご確認をしていただき、また足りないものがありましたら言っていただければと思いますので、よろしくをお願いします。

一応、実施要項ということで今ご説明させていただきましたけれども、今回のこの改革でまずテーマの関係と、あと役割分担の関係、またテーマが決まりますとチラシを確定したいと思います。あと、アンケートが前回のものをつけておきましたので、その辺の確認と最後にパワーポイントでの内容を削除するもの、またつけ加えるものがありましたら言っていただきまして、準備のほうをしていきたいと思います。

なお、今回、決めさせていただいた内容につきまして、19日の全員協議会のほうで各議員さんに日程等の説明をさせていただきたいと思います。

以上となりますので、よろしくをお願いします。

○委員長（保坂芳子君） ありがとうございます。

それでは、順次内容等を決めていきたいと思います。今、お話がありましたように、きょう決めることは、テーマ、そして班編成のそういった役割の内容等、それから、あとパワーポイント等の中身、その辺のを中心に決めさせていただきます。

まず、テーマについてですが、皆様のご意見をお伺いしたいと思います。それぞれのあがる程度、地区で今回の竜王と双葉でそれぞれ中心でやってくださる委員さんからありましたらどうぞ。

じゃ、斉藤委員。

○委員（斉藤芳夫君） 各自治会長の意見、これが区民の代表の意見というわけではない部分もあろうかと思うんですけれども、みんなにみんな一人一人聞いて歩くわけにもいかないんで、いろいろ三役さんとかにちょっと話を聞いたところによると、今、特に先ほど皇太子様の堤防を見ておられたというような話から、水難の洪水災害ということは、この竜王地域に

としては、それに対する各行政の対応もそうですけれども、それぞれの自治会がどういうふうにやっていかなければいけないか、それから、それに対して行政等のそういう、いわゆる対応、協働する対応というようなことが、信玄堤は切れないという神話のように思っていると、思わぬ災害が現実的に全国であちこちで起こっているということが今ホットな話題だということが1つ。

もう一つは、やっぱり議会との対話集会ということなんで、選挙と政務活動費あるいは議員報酬ということについては、どうしても議員と話をする、議会と話をするというテーマとしては必要なんじゃないかというようなことの見解がありました。あと、ほかにもいろいろあるんですけれども、それは何かその他の項目にでも時間をとって、ある程度やればいいのかというふうには思ったんですけれども、そういうことがありました、現実。

○委員長（保坂芳子君） よろしいですか。

○委員（斉藤芳夫君） はい、以上です。

○委員長（保坂芳子君） 今のが竜王地区の実際の三役の方とのお話し合いの中で出てきた2点、大きく2点というのがございました。

どうでしょう、両方出してもらってからにしますかね。

じゃ、竜王はわかりました。

じゃ、双葉のほう。

三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 私のほうは、テーマをまだ地元に残してあるんですけれども、かといって幅が広いからテーマを決めたほうがいいかなと思うんですけれども、地域性がございまして、今までそういうことがないからいろんな意見が出るかなと。その中で余り絞っちゃったら、今度は逆に意見が出ないのかなというふうに感じるころもございまして、私もきょうの話、改革委員会でお話が出た中で、また新田の区長さんと話したりとかしたいなと思っていますから、特別なテーマを決めてございません。

以上でございます。

○委員長（保坂芳子君） 最終的には決められますか。

○委員（三浦進吾君） 決められますけれども、簡単に言えば、農道の交通事故が多いという点でどういうふうにこの辺を、例えば市のほうでも対応がなかなか難しいので、農道の関しては、また県とかいろいろなことがございますから、確かに農道の問題、いろいろ出ているようございますが、ただ、きょうこの改革委員会でお話、例えばテーマを決めてやろうと

か、あるいはこのテーマがあったということの中でまた決めたいというふうに思っています。

○委員長（保坂芳子君） 一応、地元の皆さんを優遇してのテーマはもう決めていくのがいいので、ここで決めるというのは、どういうのとどういうのとどういうのと細かくそういう要望を聞くというふうな形になっちゃうと思うんです。行政との対話、市長との対話と違うので、あくまでも議会との対話ということなんで、ある程度こちらの主導で進めていかないと、やたら要望だけいっぱい上がってきちゃったらあれなので。

○委員（三浦進吾君） じゃ、何度も聞かせてもらいました私たちのまちづくり、まちづくりという広いんですよ。だから、地区によってはまた違いうだろうからね、まちづくりでいけばいろんなテーマが出るかなと思うんだけど、一応、これを見せてあるから、まちづくりということがいい。

○委員長（保坂芳子君） じゃ、まちづくりでよろしいですか。

○委員（三浦進吾君） まちづくりだ。はい。

○委員長（保坂芳子君） 議長、はい、どうぞ。

○議長（小浦宗光君） 今、まちづくりというアイデアが出ましたけれども、やはり各議員さんも地域の代表ということで来ていただいているので、地域を代弁しているということですから、今までは過去4年間はこの集会やっていましたけれども、今までは議会を知ってもらうとか、議員の活動を知ってもらうというようなことが主にテーマだったんですけども、昨年の吉川のときにはやはり地域の要望が結構出てきまして、それで聞いてみると、本当に地域にはいろいろ課題が多いなということで、そういうことも皆さんがなかなか市のほうには言いにくいとか、議員さんには言いにくいとかというようなこともあって、正直に滞っているという課題がたくさんあるんですよ。

ですから、今、三浦議員からも出たように、まちづくりとか要望事項ということで、今回、4年たったこれからはそういうこともある程度聞いてあげるような、吸い上げるような対話集会ができれば本当に実があるような気がするんですけども。

それで地域の人、ああ、自分たちが言いたいこととかやってもらいたいところ、改革してもらいたいこと、要望事項、そういうものが聞いてもらえるということになると、何かそれなりにいろいろと出してくるんじゃないかと思いますので、そういうことも、例えば態度として2番でも3番でもいいですから、まちづくりについてとか要望事項を聞くというそんなようなことを入れておいてもらって、皆さんがそういうことでこういう時間があるんだなということでもってやって来てもらえればいいかなと思うんですけども、いかがでしょう

か。

○委員長（保坂芳子君） 来てもらうためにもね。

○議長（小浦宗光君） はい。

○委員長（保坂芳子君） 今、議長のほうから、そういったご意見というか提案があったんですが、今までも対話集会の中でいろいろ出てきたことに関しては、一つ一つ全部答えていますよね。答えてきたと思うんです。だけれども、そういう要望を聞く会とかはしていないので、そういう方向に行くと、今度、皆さん、いっぱい持ってくると思うんですが、その辺の兼ね合いはいかがでしょうかね。一応、方向性として。

齊藤委員。

○委員（齊藤芳夫君） 今、議事録を見てもね、ちょっと市民のそういう対話集会に出てきた人から、何かこっちがまともに答えられないような難題みたいなものを投げられた場合に、我々側のほうがそれに対してちゃんとした対応ができない、そういうようなテーマは避けようみたいなことが今まであったんだけど、だけれども、対話集会なんだから、何か質問を聞いて答えなければ、完全に答えられなければいけないというのが対話集会なのかどうかということも、やっぱり基本的には考えていかなければまずいんじゃないかな。

答えられないからそういうテーマは避けちゃおうみたいな話は、こちら側の姿勢としては、それはそのほうが、ちゃんとした答えをきちんと言えたほうが会議的にはいいかもしれんけれども、対話集会というのはそういうものかなというところまで、もう一回考え直す必要もあるかもしれないというふうに思いますけれどもね。これは私の個人的な考えだけれども。

○委員長（保坂芳子君） どうでしょうか、今のご意見。それぞれまたご意見あればお話しください。

いかがですか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 今、齊藤さんが言ったように、確かに議会の問答と違うんで、必ずきっちりした答えが出なくても、それはあらかじめ前提の上で、もうどんな意見を出しても、そういう意味では、題名もまちづくりのほうが本当に何でも出せるからいいのかなという気もするでもないけれども、ちょっとまだ考えがまとまっていません。ちょっと意見として。

○委員長（保坂芳子君） ほかに。

有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） 今、いろいろ意見が出ているんだけど、いずれにしても、もう

フリートークみたいな感じになると思うですよ。まちづくりといたら、もう既にテーマをまちづくりにしてもいろいろな問題が出てくれば、それに対して議会として答えるというか、この中では議会でまとまった考えなのか、多分、この場では言えないと思うんですよ。だから、大きいんです。各議員が発言して、自分の考えを言うしかないと思うんですよ。それが対話集会だと思うんです。

それで、結論なんか出なくても、この議員はこういうように思っているんだとかという、こういう市民に対してもそういう話をしていくしかないと思うんですよ。議会として、じゃ、こうだなんていうのは、決してまとまった答弁なんかできないしね。僕はそれでいいと思うんですよ。市民との間にいろいろな話を、市民の皆さんはこんなようなことを考えているんだということがわかれば。当然、今後のあれに沿った、皆さん、市民の方がこういうのを思っているということ参考にして議会活動していけばいい話ですしね。

最初に、双葉の場合は、まだ地区との役員の方とは話に出ていないということなんで、先に斉藤議員から言われた、僕は、まちづくりでもいいんだけど、テーマとしてはね、竜王でも双葉地区でも、同じでも僕はいいような気がするんです。さっき聞いた、要するに防災・減災みたいな話とかね。その議員報酬とか政務活動の話とかというのは、非常にタイムリーな話のような気がするんです。だから、もし竜王でそういうようなものを今テーマとして入るのであれば双葉も同じような、テーマとしてはね、議会ですから、ここはあくまでも竜王地区とか双葉地区と分けてはあるけれども、全体の中で考えていけばいい話でね。

だから、もし竜王がそういうような地区のそんなような要望が今あるんだと聞かせてもらったんでね、僕はそれをメインテーマに、まちづくりというのは、要はもう全部が全部まちづくりという話ですからね、防災にしたって何にしたって。何か非常に大きいテーマだから、いいといえばいいかもしれないけれども、僕は先ほど斉藤議員が言った防災・減災について、それに付随した話はいろいろ出てくると思うんです。そういう地区に応じたものがね。それで、それと今、非常に全国的にも問題になっている政務活動費の話とかね。もし特別テーマとするのであれば、そういうようなもの、それであるとは、まちづくりについてもフリートークみたいな感じになっていいのかなという気がしますけれども。それは個人の意見としては。

○委員長（保坂芳子君） 今、そういったご意見が出ました。今回、この議会改革としてテーマはこれですということで進めていけば、両方とも同じような形でやっても別に問題ないと思うんですが、どうですか、双葉地区。今までは地区ごとのあれだから。

○委員（三浦進吾君） それぞれの地区によって事情があるから、こちらで決めるよりは地元

の人に聞いたほうがいいんだけど、この資料の中にはまちづくりと言っているから、まちづくりでいいでしょうかと言っているんだけど、今、逆に言うと、きょう、こういうテーマでやってほしいといえればそれを言えばいいんだろうしね。ただそういうことなんですよ。

○委員長（保坂芳子君） どうですか、それでいいですか。

○委員（三浦進吾君） どちらもいいんだけど、どちらでもいいです。

○委員長（保坂芳子君） 一応、三浦さんにお任せしてあるので、決めていただいて。

齊藤委員。

○委員（齊藤芳夫君） 去年、まちづくりというテーマでどっちもやっているんだよね。

○委員長（保坂芳子君） そうですね。

○委員（齊藤芳夫君） まちづくりというテーマで統一して去年もやったと。僕は今、三浦さんが言うように、例えば双葉地区はテーマはこっち、竜王地区は別のテーマ、だからって別にこの対話集が無意味というわけでもないんだから、これは統一してこだわることに何か重要性があるんですか。

○委員長（保坂芳子君） いや、ないです。ないですけども、19日の日には、やはり皆さんに全協で一応、発表したいんです、流れとしては。それで聞いています。19日はあさってなので、一応それで聞いています。

〔発言する者あり〕

○委員（齊藤芳夫君） 生活環境も違うし、地域によって違うテーマが話題になるというのは、あってもいいかなという気がします。

○委員（有泉庸一郎君） ただ、今も結論的には出ていないんだけど、三浦さんがね、まだ地区から上がってきていないと言うけれども、恐らく地区からはそんなに上がってこないと思うんですよ。どういうテーマなんですかと地区からどうのこうのなんてテーマなんか上がってこない。

いずれにしたって、もう全般の話をするわけですから、例えばまちづくりといたってね、全部ひっかかってくるわけでしょう。だから、余り細かいテーマなんか決めてもね。だから今、非常に竜王のほうから出ている今の防災とかそういう、防災・減災みたいな話というのは、もう各地区というか甲斐市全般にかかわる問題だからね、いいような気がするんですよ、僕はね。

何もそのほかのことは話してはいけないという話じゃないんだから、あとは進行とか司会

の中でそういう話をしていけばいい話でね。いろいろなこういう話はしちゃいけない、テーマを決めたって、行政に対する要望事項みたいな話は、過去の例を見てもみんな出てきますからね、そういう話というのは。だから、余りそんなにこだわらなくてもいい気がするんですよ。

○委員長（保坂芳子君） 齊藤委員。

○委員（齊藤芳夫君） どっちにしても、19日にはもう文書の作成のほうを出さなければならぬ。チラシ印刷がもう1カ月先もないんで、そういう意味ではまちづくりがかなり無難ですよ。何でも出し合えるんで、三浦さんのほうも自治会のほうからいろいろ出ている、またそれを言ってもらえばいいわけだから、それでいいよ、私は個人的には思いますが。

○委員長（保坂芳子君） 三浦委員。

○委員（三浦進吾君） まちづくりというと大変幅が広いんですけども、一番地元としては、まちづくりに対しての意見を聞けば言いやすいですよ。それで参加しやすいの。だから、例えばいろんな意見がある中でこの問題とテーマを決めちゃうと、例えばこの統一には、その前にはですよ、テーマをある程度絞って、こういう件でお願いしたいということはしますけれども、まちづくりといえれば多くの人が参加しやすいですよ。だから、これでどうかということなんです。

○委員長（保坂芳子君） じゃ、よろしいですか。

○委員（三浦進吾君） 新田のまちづくりとかね。

○委員長（保坂芳子君） そうですよ。

○委員（三浦進吾君） そういう含みを入れてのね。それにはやっぱり取り組みがあるかと。

○委員長（保坂芳子君） 新田のまちづくり。

○委員（三浦進吾君） はい。

○委員長（保坂芳子君） じゃ、そういうことで双葉地区のテーマにつきましては、で申しわけないんですが、新田地区のまちづくりということでよろしいでしょうか。

○委員（三浦進吾君） はい。

○委員長（保坂芳子君） 齊藤さん、これちょっと言葉にするとどんなふうにしましょうか。防災・減災……、何か。

○委員（齊藤芳夫君） 余り長くなってもいけないと思うんだよね、テーマが。

○委員長（保坂芳子君） いいですよ、別にね。わかりやすいのが。

○委員（齊藤芳夫君） 防災・減災とまちづくり。

- 委員長（保坂芳子君） 防災についてだって構わないんだけどね。
- 委員（斉藤芳夫君） 防災についてだけでもいいかもね、これでいけるから。
- 委員長（保坂芳子君） テーマだから。
- 議長（小浦宗光君） それだと防災だけに絞られちゃうから。防災というタイトルだとね。それだけに絞られちゃう。防災に余り関心のない人は、それだと地区の防災なんて関心ないからいいやなんていって。
- 委員長（保坂芳子君） どうぞ、三浦委員。
- 委員（三浦進吾君） 斉藤委員、大体予想では何人ぐらい来る。俺たちの自治会なんか対象世帯が多いからどのぐらいの参加があるか、それをちょっと参考に教えてくれる。
- 委員（斉藤芳夫君） 今までの例えばチェック表を見ると、去年、双葉では24人、竜王で32人というような数字なわけですよ、去年の数字を見ると。
- なぜ中八幡の公民館にしたかという、あそこが50、固定席が50、それ以上に椅子が足りなければ周りに置けるという程度で、多くても60人ぐらいしか入れないんじゃないかと。健康保健センターの1部屋も借りてはあるんだけど、どちらでやろうかと今のところ検討している。
- 要するに、余り広くてガラランで、職員みんな導入してきてやっと思えるようになっていこうというのだと、どうかなという思いもあったり、まちづくりという今テーマもあったけれども、あそこの公会堂は三、四年前に建ったばかりで、地域のまちづくりの拠点としては比較的いい、新しいタイプの公民館、公会堂になっているんだよね。ぜひともあそこでやりたいというのが、当初の私の考えもあって、本当は大きな公民館でやろうと思ったけれども、満杯で全然だめだったから、それで地域の公会堂ではここがいいなど。だから、よく見込んでも四、五十人しか来ないんじゃないかなという、期待してよければいいけれども、恐らく1地域に10人も来ないと思いますけれどもね。
- 委員長（保坂芳子君） こちらは三役の方とのお話し合いで余り出て来なくて、防災・減災についてとか、例えば政務活動費についてとか、そういうふうに大きいのでやったらどうですかね。出ているので、それで最後にその他にでもいいと思ったんですよ。
- 委員（斉藤芳夫君） 僕も、今現在はだから災害対策と……
- 委員長（保坂芳子君） 災害対策についてにしますか。
- 委員（斉藤芳夫君） と政務活動費とか報酬とうたうべきか、選挙と議会についてとかというふうに幅広くするかと考えたけれどもね。

○委員（三浦進吾君） 政務活動費とか、それはもうパワーポイントとかそういうので大体それで多くの人は理解……

○委員（斉藤芳夫君） いえいえ、これ意見の交換会だから、パワーポイントで説明しても意見がある人は意見があるんだから。

〔「言っているですか」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） はい、どうぞ。

○書記（山岡広司君） 今、それぞれの地区でテーマということで、竜王地区のほうは防災について、双葉地区についてはまちづくりということで、前回、まちづくりにした理由が、1つに決められて、皆さんの対話集会ということでまちづくりにしたんですが、今回、例えば防災というものにした場合、2年前なんですけれども、環境でやったときはパワーポイントに環境的なものをつけているんですね、説明で。

○委員長（保坂芳子君） そうそう。

○書記（山岡広司君） この辺は入れるのか、そうしたら、防災についてというテーマにして皆さんから意見をもらうのか、もしテーマを決めるのであれば、その辺も考えていただいたほうがいいと思います。まちづくりだと全体ですから、皆さんのご意見をどんな意見でもいいから聞くということで去年やった記憶がありますので、もし防災についてというテーマを決めるのであれば、そういうものもパワーポイントに入れるのか、それとも入れなくて対話の中でやっていくのかというのを決めていただければと思います。

○委員長（保坂芳子君） さっき災害対策と言いましたが、防災についてとどっちがいいですか。

○委員（斉藤芳夫君） 本当は防災というふうに全体的に広げると、かえって焦点がぼけるんという話のほうが言われている内容としては、議会が何を答えられるかという話じゃなくて、洪水災害というのを一番この辺の地域の今の上八幡、中八幡、新居、仲新居、あの辺は上篠原もひっくるめて洪水災害に対する対策、農家も多い、あるいは新興住宅も多い、けれども、1メートル水没はしますよだけで、あと何も我々は手も足も出ないというのをみんなで何とかしなければいけないという意見が非常に強いよね。

地震とか台風とかならそれはもうともかく、いやいや、じっとしていれば2階へ上って幾らか静かにしなければいけないよとか、近所の公会堂にも、ちょっと行けば公会堂も水が行ってるよみたいな話だとどうなんだろうというのは、非常に今盛んにちまたの話題に出ますね。テレビでそういうのが流れるから、余計。

○委員長（保坂芳子君） じゃ、洪水災害に対して何ができる……

○委員（斉藤芳夫君） 私は、竜王は特異的なそういう部分があるということ。

○委員長（保坂芳子君） そうですね。

どうぞ、三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 竜王だけでなく、そういうのもあるんですけども、これ大事なことで、例えば国の問題と県の問題っていろいろあるんですけども、じゃ、地域の人たちの逆のマイナスイメージが出たときにどういう、その人たちの意見も聞かなければいけないんですけども、この地区は、じゃ、水害が起きるの、災害が起きるよ、だからそうすると、いろんな資産価値が下がったりとかイメージが悪くなるということもあるので、だから両方考えないと、ただそこだけ……

○委員長（保坂芳子君） そんなことじゃない。そんな問題じゃない。

○委員（三浦進吾君） いや、そういう市民が出てきたときに、議会でどこまで対応できるかということもあるし……

○委員（斉藤芳夫君） 対応はできないんじゃないの。

○委員（三浦進吾君） できないでしょう。できないから……

○委員長（保坂芳子君） それは、やっぱり水害になったときにどうするかということ、自助というのをよく考えなければいけないですよという結論にしたいわけですよ。それには何をすべきでしょうねというところに、ここに来た人たちがそこで考えてもらうというのが私たちの議会としては。

○委員（斉藤芳夫君） それは自助だけじゃないけれどもね。

○委員長（保坂芳子君） じゃないですよ。

○委員（斉藤芳夫君） 共助のほうだってね。自助、共助、公助に対して、みんな意見それぞれあるわけだから。

○委員長（保坂芳子君） だから、はっきりさせていくという意味では。それで要望を出さなければいいことで。

○委員（斉藤芳夫君） それを議員だから何かできるという話じゃないじゃない。議会と市民の対話集会なんだから、対話すればいいじゃないですかね、別に。意見がいっぱい出たらそのまま議会と……。

○委員長（保坂芳子君） ここでこういうのが出ているんだから、やっぱりよく聞かなければならない。対話してほしいと言っているんだから、やっぱりそれはやらなければならないで

すよね。

○委員（斉藤芳夫君） まちづくりの中にひっくるめたんじゃ、それでもまちづくりは幅広いから何でも出ちゃうよ。

○委員（有泉庸一郎君） 今、斉藤さんが言ったようにね、いいですか、言っても。

○委員長（保坂芳子君） どうぞ。

○委員（有泉庸一郎君） そういうことで、あとは、進行役というか司会者の方がそこできろいろ話を、こういう問題に関してはどうですかみたいな話のほうがいいのかもしれないね。余り細かくするよりも。斉藤さんのほうで、地域にそういうテーマで対応できれば別に。

○委員（斉藤芳夫君） みんなが聞いているだけだから別にね。

○委員（有泉庸一郎君） じゃ、まちづくりというもので、それで、あとは進行役がいろいろな問題もご質問などで。進行役というから司会者のあれが結構、今までの例だと持っていく方なんですよ。

○委員（斉藤芳夫君） この議事録を見るとね、非常に何ていうか、これでいいのかいなという感じはするけれどもね。対話集会の議事録の内容を見るとね。どこの道がへこんでいるからどうのこうのと、そういうことしか出てこなくなっちゃう、まちづくりというね。道が危ないから、歩道がないじゃ危ないじゃん、これはわかるよ。

○議長（小浦宗光君） そういうことを聞くのも大切なことですよ。やっぱり地域の人はこういうことに関心を持っていて、最後にはそれを絞るということですからね。ただ、堤防が決壊したという問題になると大きな問題で、対応が本当に大きな問題で議員としても答えができないんじゃないですかね。

○委員（斉藤芳夫君） いや、答えるんじゃないくて、自分たちが何をするかを改めて見直すということですからね、一番は。そういう可能性ができたときに、それが一番目なんだよね。

〔発言する者あり〕

○委員長（保坂芳子君） でも、話し合いに入っちゃうんですよ。

○議長（小浦宗光君） いやいや、まあそれは司会が決めるので。

○委員長（保坂芳子君） はい、三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 斉藤委員が言ったのは、そういう地区の対応というのはどうやると話をしたのは、そういうテーマがあるということは聞いているわけ。だから、そのテーマを乗っけようたって、全体的にいったってそのテーマは出てくるんだから。

〔発言する者あり〕

○委員長（保坂芳子君） 例えば行政でもそれなりにしてもらって答えられるようにしておかないと満足しないんですよ、そういうの。前もやっているんだから、それは大丈夫じゃないですか。

○委員（斉藤芳夫君） それは発言次第ですよ。それで、もう26日の広報のときには回覧としてピラを配りたいので、もうそれでないとうちは間に合わないの、テーマに余り時間かけてないでもう終わってほしい。

○委員長（保坂芳子君） どうしましょう。まちづくりっていつまでとかにしますか。

○議長（小浦宗光君） 進行のやり方でどうとでもできるテーマ、そういうふうでも構わない。

○委員長（保坂芳子君） チラシに載せなくていい。防災とかというのは。

○委員（斉藤芳夫君） その辺はどうしたらいいか。

〔「いいですか」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） はい。

○書記（山岡広司君） 先ほど言いました、例えば載せた場合は、委員長が言ったように、それに対応するものをしっかり持って、その前に例えば防災とはこういうふうを考えているみたいなものを流して皆さんに意見をもらうのか、全くそれだと、ただテーマだけを挙げて皆さんに意見をもらって、答えるというか交換するののかということも考えていかなければならんかなと思います。

○委員長（保坂芳子君） 最低限、やっぱり行政側のしっかりした答えを用意しておいて、入るとしたら防災……

○書記（山岡広司君） テーマで挙げるとしたら、そういうふうにしたほうがいいのかないかなというふうには思いますよね。前回は、それを抜きにして、環境の話がちょっと長かったから、そういうテーマはもう抜きにして、皆さんのご意見をたくさん聞くようにということをやったような気がしますけれども。

○委員長（保坂芳子君） 環境のときはちょっと大変でしたよね。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 防災の場合、当然、どこまで水が来るからとか、そういう地図的なものも用意しておかなければならないでしょう。その辺がちょっと難しいなと思うよね。

○委員長（保坂芳子君） 結局、誰がやるかということに。

斉藤委員。

○委員（斉藤芳夫君） 2度も言うようだけれども、この地域の、限定しているこの地域は、

一番心配していることは洪水対策なんです。洪水対策に対し、自分たちがどうしなければいけないか。ある自治体は、もう既に一般の例えば商店だとか企業とか、あるいは2階建て、3階建てのマンションを持っている人たちのところに、もう洪水のときには避難させてくださいねと言って、自治会長が協定を結んだりやっているところがあるんです。やっぱりそういうところがどういうふうに分たちがやったか、これから皆さんの地域もどうやってやるかというのが彼らのテーマなんです、実は。

その次に、中には、いや、困ったな、田んぼは、畑はという人も当然入っている、この中には、大変。この中に古村が抜けているのは、古村は私がいるからということにしているんだけど、何で議員がいる地域を抜けて言ったのか、ここも俺はわからないんだけど、古村でも多分、洪水対策、今、一番問題になっているテーマになっていますね。というのは、公会堂の移転があるもので、公会堂の移転あるのに、公会堂が水浸しになるようなところにどうやって移転するんだという話がもう既に出るわけ、具体的に。

○委員長（保坂芳子君） それについては、議会が何か私たちができるかという……

○委員（齊藤芳夫君） いや、できる、できないは関係ないけれども。

○委員長（保坂芳子君） 対話集会で意見が出たときに、私たちがそれに対して……

○委員（齊藤芳夫君） いや、だから、自助、共助の部分は自分たちで意識と、じゃ、そこに公助をどういうふうに絡めていってもらえるのか。その公助の中では、例えば役所の職員がどうのとか、議員がどうのじゃなくて、もう周りのインフラの整備はどうするんだというところに、もう当然話が出ているわけですよ。昭和町はどうするんだ、中央市とはどうするんだ、わかっているでしょ。

○委員長（保坂芳子君） わかりません。

はい。

○委員（有泉庸一郎君） いつまでも言ってもね、そういう細かい話になると際限がなく出てくるんで、いずれにしても、じゃ、まちづくりはまちづくりと、前と同じになっちゃうかもしれないけれども、それでやったらどうですか、テーマ。それで、あとは個々に対応していく。どうお考えになっているかわからないけれども、対話集会というのは、あくまでも住民の皆さんの話を聞いて、それに対してそこに答えを出すんじゃなくて、我々が今度、議会活動をしていく上の段取りのための対話集会なんだから、別にいろいろ意見を言えばいいんですよ、その場で。

今までのやつを見ていると、議員が余り発言を自主的にはしていないんだよね。だから、

そういう意味合いからいえば、議員が個々に時間を持ってもっと発言をしてもらいたいというのが今までの経験で言うとそういうことなんです。だから、そもそもそれが市民との対話集会という話なんで、質問とかこういう答えをしなければいけない、議員だってみんな、これだけの頭の人がいれば、皆、考えていることなんて違うと思うんですよ。そこでどういう施策をするかとか何とかという話じゃなくて、自分はこう考えているみたいな話を住民から出たときには受け答えすればいいんでね。

そういう意味からいえば、僕もさっきちょっと余り個別な意見にこだわったけれども、まちづくりで一番無難じゃないですか、テーマとしては。意見は住民の皆さんにいろいろな、多分、いろんな意見が出てくると思いますよ、それは実際の場になれば。

○委員長（保坂芳子君） では、大体こんなところで、斉藤委員、よろしいでしょうか。

○委員（斉藤芳夫君） はい。

○委員長（保坂芳子君） 三浦委員もよろしいでしょうか。

○委員（三浦進吾君） はい。

○委員長（保坂芳子君） じゃ、まちづくりということで。1回、もちろんそうですね、詳細のところに行くというのは、別に去年これだからことしは違うというんじゃないんですよ。ずっとやっぱりやっていくんですよ。

じゃ、まちづくりということで、特に竜王地区の場合は、そういう防災・減災、そして政務活動費、その辺に焦点を当てて話を司会者のほうで持って行っていただきたいと思います。

〔「1点確認で」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） はい。

○書記（山岡広司君） 今、まちづくりに決まったんですが、先ほど双葉は新田地区を入れるとかと言ったんですけども、どうしますか。

○委員長（保坂芳子君） 三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 入れたい。

○委員長（保坂芳子君） 入れたい。

○書記（山岡広司君） これは、チラシとかにはそういう形で入れる。

○委員長（保坂芳子君） 新田地区のまちづくりと入れる。

○委員（斉藤芳夫君） 竜王地区と書いているのに新田地区なんて。

○委員長（保坂芳子君） 三浦委員。

○委員（三浦進吾君） やっぱり皆さんからのお話の最初に、この議会と対話集会が出たとき

に、議員がいないところの地区からいろんな意見を聞きたいということでこの対話集会が始まったんですよ。その中でやっぱりこう見たときに、この回覧が回ったのもあるんだけど、この地区に限定されるとか、ほかの人は来てはいけんということはないんですけども、そうするとその地域の人が参加しやすいんですよ。じゃ、地元のことだから参加、これ、じゃ新田のことだから行こうとか、ただまちづくりだと、まち全体のことを考えるんだからというふうに誤解を招いたりするんで、それで新田地区と地区名を入れていただいたほうが少しでも、関心のない方も参加していただくということでお願いしたいと思います。

○委員長（保坂芳子君） という話なんですけれどもね。

はい、どうぞ。

○委員（有泉庸一郎君） 余り限定するとどうだろうか。今度、話をしていく中でも、議員が話をする中でも新田地区に特定しちゃうと、話のあれが濃くなってくる、大変なような気がするんだけどね。だから、まちづくり……

○委員（三浦進吾君） それは、私は構わない。別にまちづくりで結構です。斉藤さんの考えだからいいですけども。そういうことで終わります。

○委員長（保坂芳子君） もしあれだったらこのやはたいぬにでも新田地区のまちづくりをみんなで考えようとか入れるとか何か、違うところに入れるとか、最初の一声で、新田地区のまちづくりをきょうは考えていくようにとかね。

○委員（斉藤芳夫君） チラシ自体の表現の仕方が違っているのに、中はみんな統一しなければいけないみたいな話は、これはもっと変だぜ。

○委員長（保坂芳子君） はい、山岡係長。

○書記（山岡広司君） 今、斉藤委員も言ったように、竜王は竜王ということを書いてあるんですよ。それで、双葉は、ここに新田地区と書いてあって、ここも斉藤委員も言っていると思うんですが、もし、じゃ、ここを双葉地区にして、意見交換の括弧あるじゃないですか、ここ、ここに対象の例えば新田地区意見交換、ここへ新田地区とか、例えば竜王の対象地区をここへ入れるとかというふうなやり方もあると思うんですよ、ここへ。意見交換対象地区みたいにして、それぞれの地区を入れて、テーマはまちづくりみたいな。どうですかね。

○委員（三浦進吾君） それは今年のね、去年の10月にやった吉沢地区の皆さんは、ここに吉沢地区の皆さんと語ろうと書いてあるんですよ。これも参考になるんですよ。だから、いろいろそのときの改革特別委員会の皆さん方が書いたんだらうけれども、昨年やったものは吉沢地区の皆さんと語ろうと書いてあるから、これに対しては別に、これ結構限定してしたほ

うが……

○委員（斉藤芳夫君） ほとんど中身は同じだと思うんだよな。この……

○委員長（保坂芳子君） 渡したときにどういうふうにとった……

〔発言する者あり〕

○委員（斉藤芳夫君） これパワーポイントの中身でしょう、それ。

〔発言する者あり〕

○書記（山岡広司君） 去年の敷島はここを吉沢地区にした。

〔発言する者あり〕

○委員長（保坂芳子君） そうね、新田の人はここに新田地区と書いてあったほうがいいね。

これって新田の人たちに渡さないのもんね。回らないんだよ、これ。

○議会事務局長（岩下和也君） これ回覧です。

○委員長（保坂芳子君） 回覧でしょう。広報はこれはいかない。広報は出ないんだ、これね。

○書記（山岡広司君） 広報は地区は出るんですよ。

〔発言する者あり〕

○書記（山岡広司君） 日程と地区だけ。

○議会事務局長（岩下和也君） 日程と地区だけが、広報に載る。

○委員長（保坂芳子君） 確かに、新田の人は新田地区と書いてあったほうが出やすいと思う。

でも、双葉地区で対象が新田となっていると出にくい。

どうですか。そういうふうにしますか、そのところ、皆さん、どういったような。

はい、三浦委員。

○委員（三浦進吾君） いや、それ統一しなくても、市民が判断してくればいいわけ。意見を交換することだから、余りそこに、地区によって全然違うんですよ。ここは新田という地区が前からあって、それで今、新しい人たちが増えて、もう数倍になったんですよ。だから、そういうことでは新田地区という言葉を使ったほうが、仲新居と違ってピンと来ないところもあるし、かといって双葉限定だと、今度はほかの方も来て、ほかの意見も出る、出ていいんだけど、かといって会場の問題もあるからね。

○委員長（保坂芳子君） 回覧したときにね、ああ、新田なんだと思うよね。

じゃ、竜王はこれはどうですか。

○委員（三浦進吾君） それは斉藤委員に任せます。

○委員長（保坂芳子君） 斉藤委員。

○委員（齊藤芳夫君） ここへ書き切れればいいんだけども。

○委員長（保坂芳子君） 書き切れない。

○委員（三浦進吾君） そんなに大きくしなければ書けるじゃない。

〔発言する者あり〕

○委員（三浦進吾君） せっかく書いたのに。

○委員長（保坂芳子君） 確かにこれ回覧を見たときには、これ思うよね。自分のところだみ
たいな。

○委員（齊藤芳夫君） ああ、俺ら行っちゃいけないんだって。

○委員長（保坂芳子君） ああ、何で。要するに選ばれているからですか。

○委員（齊藤芳夫君） 地域限定されちゃうと、俺ら行っちゃいけないんだ。

○委員（三浦進吾君） 全体だからいいじゃない。

地域にしか、これは回覧は行かないんでしょう。意見が出ているんだから。ほかの地区か
ら行っちゃいけないなんて、言っていないでしょ。

〔発言する者あり〕

○委員長（保坂芳子君） 齊藤委員。

○委員（齊藤芳夫君） この地域を見ると、この中には篠原地区というのと玉幡地区というの
が2つ混ざっているんです。その中で……

○委員長（保坂芳子君） 過去。

○委員（齊藤芳夫君） ええ。

それで、篠原地域の中から古村は抜いちゃってあるわけですよ。そうすると、篠原地域の
人たちは年中交流しているから、市民の対話集会をやると思ったら古村を抜いたほかの3篠
原地区でやって、玉幡と古村は何で抜いたかという話に必ずなるのね。抜かれたほうから
言うばかりじゃなくて。

〔発言する者あり〕

○委員（齊藤芳夫君） だから、そういうことはパンフレットには説明してないから、片方は
竜王地区でやる、片方は双葉地区なのに新田地区でやるというのはどういうパンフレット
で……

〔発言する者あり〕

○委員（三浦進吾君） 最初からこの観点から、だって昔はもう大ざっぱにやったんだけど
も、今度は地区に分けてやろうと変わってきたじゃない。俺たちじゃないんだ、前の改革委

員会で決まったわけだから、そういうことで理解してやってください。

[発言する者あり]

○委員長（保坂芳子君） 皆さん、どうですか。双葉と竜王とこのまま竜王と新田地区で確かに共催じゃないんだけど、これでいきたいと言うんですけれども。それか、双葉のほうを双葉地区にして、ここに対象のところにとここの、新田というふうに入れるか、同じようにね。

三浦委員。

○委員（三浦進吾君） じゃ、逆に言うと、議会と語ろう、竜王地区とか双葉地区とか敷島地区のこの地区を載せなければいいんじゃないですか。そんなにこだわらなくていいじゃない。もう今、3町が一緒になっているんだから。ただ、議会と語ろうというのは、議員がいないところ、そういうところとの意見交換をしたほうがいいということで、当番制じゃないけれども、これあるわけだから。

○委員長（保坂芳子君） 何か言っていることがそれ違うんじゃない。

○委員（三浦進吾君） 竜王地区というものは……

○委員長（保坂芳子君） そうじゃなくて、だって三浦さんは新田と書いてあっても新田の人が見たときに、ああ、自分のところだと思うからいいと言ったのに、ますます広がっているんですけれども、いいんですか。

○委員（三浦進吾君） いいよ。竜王地区あるいは双葉地区あるいはそのまま新田と書くなら。

○委員長（保坂芳子君） その辺はね。

○委員（三浦進吾君） 地元配るわけだから、地元のね。

○委員長（保坂芳子君） それはそうでしょう。

○委員（三浦進吾君） そうでしょう。だから、新田地区でいいじゃない。こんなところに双葉なんて入れるわけじゃない。それだけでわかるんだから。

○委員長（保坂芳子君） 地域性があるとやっぱりね。これいつもこんなことまで……

[「気にするなよ、そんなことじゃない」と呼ぶ者あり]

○委員長（保坂芳子君） それで、聞くと、やっぱり斉藤さんばかりね、そういうあるんだよね。何かやっぱり聞くとね、細かいことだけれども。

○委員（斉藤芳夫君） この竜王地区なら竜王地区という取り扱いだけでこんな時間かけて、執行に任せてもらおう。

[「そうだね」と呼ぶ者あり]

○委員長（保坂芳子君） これでいいでしょう。それでいい、竜王地区で。

○委員（斉藤芳夫君） だから、ここにどう入れるかは、竜王は俺に任せてもらえるかという話。

〔発言する者あり〕

○委員長（保坂芳子君） いいですか、皆さん。任せるということでよろしいですか。

〔発言する者あり〕

○議会事務局長（岩下和也君） それとあと一つ、皆さんにお知らせする方法、市民にお知らせする方法は議会広報の26日に配られる予定の広報甲斐。

○委員長（保坂芳子君） それじゃどうするんですか。

○委員（斉藤芳夫君） それに載せるの。

○書記（山岡広司君） 載せる。

○委員（斉藤芳夫君） 記事を。

○議会事務局長（岩下和也君） 記事じゃない。

○書記（山岡広司君） この内容をやりますと。

○委員長（保坂芳子君） テーマのね。

〔発言する者あり〕

○委員長（保坂芳子君） じゃ、お任せいたしますので。

斉藤委員。

○委員（斉藤芳夫君） 気になっているのは、このパワーポイントの説明が長いんだよ。

○委員長（保坂芳子君） ちょっと待ってください。それここに書いておきますので、ちょっとお待ちください。今のテーマについてはいいですか、それぞれの地域はお互いで決めてもらうということで。

先いきます。やっと1個終わりました。

次に、役割分担について決めたいと思います。

これ後で、できれば決めてしまいたいんですよ。何か不安があれば、それぞれ教えてもらっていいですか。全部今までと同じですから。だから、昨年と同じでよければ。

山岡係長。

○書記（山岡広司君） じゃ、皆さん、お手元のほうにそれぞれ竜王地区と双葉地区のほうの役割分担表で担当者は入れていないんですけれども、うちのほうで人数の割り振りだけは前回を見ながら入れさせていただきました。今回は、竜王地区が9人、双葉地区が11人、去

年と人数的には逆になっていますけれども、これを一旦ここに入れさせていただきますので、ここへそれぞれ入れていただければと思います。

○委員長（保坂芳子君） 1人1役ですね。きょう決めちゃっていいですね。

○書記（山岡広司君） できればきょう……

○委員長（保坂芳子君） 決められますか、斉藤さん。それとも、あくまで……

○委員（松井 豊君） それは全体の説明が終わった後、班でござと話をすればいいんじゃないかと思いますがね。誰かがやるというのでもいいし、希望のをやってみたいという人もいるだろうし。

○委員長（保坂芳子君） 希望で。

○委員（松井 豊君） ちょっとその辺は話し合いをして。

みんな集まればすぐ決まると思うんです。

○委員（有泉庸一郎君） そうだね。

○委員長（保坂芳子君） じゃ、そうしますか。

斉藤委員、どうぞ。

○委員（斉藤芳夫君） 今までそういうふう事前に相談があって割り振りもらったことないんだけど、こんなもん聞いていったら決まらんよ。と俺は思う。

○委員長（保坂芳子君） 松井委員。

○委員（松井 豊君） 今まで班で相談して決めたと思いますけれども。去年のほうがスムーズに決まったよね。

○委員長（保坂芳子君） だから、決めてくれたんだよ。

○委員（斉藤芳夫君） あんたはこれやってと言われただけだよ。

○委員長（保坂芳子君） 同じじゃだめってこと、じゃ。

○委員（斉藤芳夫君） 去年のやつここにあるから、味つけするんじゃ直せばいいんだけども。

○委員長（保坂芳子君） 山岡係長。

○書記（山岡広司君） 流れとして、きょう、例えば今ここを決めなくても、このきょう決まったことはあさっての全員協議会で何月何日、竜王地区についてはどこを対象に、テーマについてはこうですという話を委員長のほうから報告をしますが、そこでどこまでを報告するか。今言った、もしこれがここで決めたということであれば、これを出して、改革のほうでこういうふう決めさせてもらいましたので見ていただきたいというので出すのか、または

地区ごとに分かれて決めるのかは構わないと思います。

最終的に、去年と同じような流れですので、もし1回リハーサルをやりたいということであれば、それぞれの地区でうちのほうに言っていただければ、時間をとって場所をつくるようにしますけれども、前回と同じだから内容を読めばいいかなというのであれば、その辺は地区ごとに任せるという方法で考えていきたいなと思っています。

○委員長（保坂芳子君） どうでしょうか。

齊藤委員。

○委員（齊藤芳夫君） 前は、双葉、敷島はともかく、竜王は議会改革特別委員会委員が4人いました。今回は1人しかいない。だから、これは多分、議会改革特別委員会の人間を各ところに割り振って、あいたところにポンポンと入れていくという、ほかの人を割り振ったという形に何となくなっていますよ。ただ、今回は俺1人しかいないんで、あとはもう委員の中から適当に向き、不向きを割り振るしかないと思うんだけど。議会改革特別委員会だからこういう要職をやってほしいとかと言えるところが、ポイントがないんで。

○委員長（保坂芳子君） 案があれば出してもらえばいいと思います。ないですか、ほかに。

〔発言する者あり〕

○委員長（保坂芳子君） それで出したらどうなんですか。

○委員（齊藤芳夫君） それでいいじゃない。いないんだから。

○委員長（保坂芳子君） じゃ、いいですか、それでも。

松井さん。

○委員（松井 豊君） 僕は、同じ町の人だから寄れば大体決まると思うんだ。例えば、齊藤さんや三浦さんが中心になるのはわかっているんだから、寄れば全員決まると思いますよね。

○委員長（保坂芳子君） 山岡係長。

○書記（山岡広司君） じゃ、流れとしまして、先ほど言った、あさって全員協議会でそこまで多分時間がないと思うんです、30分しかないんで。委員長からの報告は、日、時間、場所、それでテーマはこうですよということで、あと、班編成については、今、班長に任せるということで、齊藤議員が竜王で私が決めるということであれば決めていただいて、臨時会で議員の皆さんに会うから、そこで今度は確認してもらおうと。

〔「事前にね」と呼ぶ者あり〕

○書記（山岡広司君） それで、双葉地区については、今言う、集まるということであれば、臨時会が終わった後、ちょっと忙しいと思う、バイオマスもあるんですけども、その最後

に集ってもらってここを埋めてもらう、それで皆さんに確認してもらえれば、うちのほうは準備の流れとすれば問題ないと思います。

○委員長（保坂芳子君） 三浦委員。

○委員（三浦進吾君） この班編成は、過去こう来て、ちょっと評判は高くないんだけど、改革委員会で決まったものが何件か来ていますよね。これは慣例なんていう言葉がいいのか悪いのか分からないけれども、どうですかね、それは記憶にございますか。

○委員長（保坂芳子君） 何を。ここで決めてもらった……

○委員（三浦進吾君） 改革で決めて……

○委員長（保坂芳子君） 改革で決めたというか、決めてもらったんだよね。

〔「割り振りは」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） 割り振りは。

○委員（有泉庸一郎君） みんながいる中で、地区で決めたよね。

〔発言する者あり〕

○委員（松井 豊君） 僕も班で決めた。

○委員（三浦進吾君） 班で決めたよね。

〔発言する者あり〕

○委員（三浦進吾君） じゃ、今までどおりでいいじゃない。

〔発言する者あり〕

○委員長（保坂芳子君） じゃなくて、いつまで。

○書記（山岡広司君） だから15日に確認してもらえば、それぞれ。それで、別にこれをいただいて、あとはリハーサルをするかどうか。

○委員長（保坂芳子君） そのときに決めてもらうと。19日までに出示してください、事務局へ、確認それぞれして。

○書記（山岡広司君） ここでリハーサルについては、去年は前回と同じだから、読む人が合わせて読めれば全員集まらなくてもいいなということだったので。

○委員長（保坂芳子君） 確かに同じだったらね。

○書記（山岡広司君） だから、やらなかったですよ、去年は。ことしは別にもしやるのであれば、それで、もし今からこの内容を変えるということであれば、皆さん、議員さんにもこういう内容になりましたと言ったほうがいいと思うんで。であれば、地区ごとにやっても。全協で1回でやるのか、竜王地区で1回、双葉地区で1回、内容を確認してもらいながらや

るかになると思います。

○委員長（保坂芳子君） 斉藤さん、そこまであれですよ。だって防災とかという、そこまで考えてなかった。

○委員（斉藤芳夫君） いや、双葉の問題で役割の分担は各みんなが割り振るんだから割り振ればいいだけのことで、リハーサルはさっきちらっと言った、じゃパワーポイントの内容をどうするかによっては、リハーサルを兼ねてパワーポイントの内容を見直すということの時間は欲しいよね。見直す時間が、結局はリハーサルと一緒にするんであれば1回でいいと思います。

○委員長（保坂芳子君） じゃ、今のところはいいですね。役員の割り振りは19日までにそれぞれやっていただいて、事務局へ提出していただくということをお願いします。

次に、パワーポイントに行っていていいですか。

はい、松井委員。

○委員（松井 豊君） このパワーポイントですが、大体何分ぐらいかかっているんですか。

○委員長（保坂芳子君） ちょっと待ってね。じゃ、いいですね。ここまではいいですね。パワーポイントに入りますよ。

〔「その前に」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） その前に。

はい。

○委員（斉藤芳夫君） まあ、いいや。

○委員長（保坂芳子君） じゃ、後で最後に。

じゃ、パワーポイントに入ります。

内容についてお伺いいたします。

まず、ご意見どうぞ。パワーポイントについてのご意見。

松井委員。

○委員（松井 豊君） これ何分くらいかけてやっていくんですか。

○委員長（保坂芳子君） すみません、何分でしたっけ、パワーポイントの時間。

〔「20分かな」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） 20分だそうです。

パワーポイントについてはそういうことであります。

何かご意見、ほかに。

このままでいいかどうか。いいですか。

○委員（斉藤芳夫君） 何か長いような気がするんですけどもね。

○委員長（保坂芳子君） 長い。じゃ、長いと思う方、手を挙げてください。

〔挙手多数〕

○委員長（保坂芳子君） 長いという方が多いです。

ただ、余りみんな切っちゃってもなくなっちゃうからね。

これね、地区の代表ですからね、皆さん。これは簡単に決めてしまうんじゃないで……

○書記（山岡広司君） 今配っているのは説明が下についているやつ、今配りましたので、これは当日、区民の方に出るパワーポイントで、それで説明員が読まなければならないわけが、それがその下に入っていますから、それも合わせて。

○委員長（保坂芳子君） ここまでつくっていただいて、もうほとんど完成品ですので、ところどころは直さなければならないところはあると思うんですけども、これ最初につくった方、本当に感謝です。こんなのつくれません。

じゃ、長いとおっしゃった、松井さん。

○委員（松井 豊君） 確かに長いといえば長いんだけど、だから僕もちょっと目を通してみて、どこを削るかといったら、何か不足してしまうという感じがしてしまうんで、かといって早口でしゃべればいいというもんでもないので、ちょっとその辺がはっきり言って何とも言えない。

○委員長（保坂芳子君） 今まで20分間で長いとおっしゃるんですが、でも結構、議会を理解していただくということが半分、目的でありますので、聞くのは初めてですからね、市民の方々も。ですから、やっぱりこれはさっき政務活動費の部分とか、ここに何かつけ足すとか変えるのか、そういったものがないと思うんですけども。災害対策本部はこっちに出してもと思っています。ここに出して、緊急の何かを、この竜王地区ではこういう洪水対策を特別にやっているとか、過去の歴史とか、水防のを入れるとか。

○委員（有泉庸一郎君） 若干こう、中は多少直すところもあると思うよ、日付的には。

○委員長（保坂芳子君） そうですね、もう一回、見直さなければならないですよ。

○書記（山岡広司君） これ、あえて去年のやつだからね。

○委員（有泉庸一郎君） ところどころ個々に多少修正するところもね。

○書記（山岡広司君） つけ加えるものとか、例えばですけども、25ページのホームページをリニューアルした後に、今度、28年度に市民と議会の対話集会をやったやつを入れて、

それで公用車を購入しましたみたいなやつを1項入れるのかなという具合。そこを追加。

○委員長（保坂芳子君） どうぞ、ご意見。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 市民からちょっと長いんじゃないかということはあるにはあるんだ。

僕らはこれは毎回見ているから、わかり切っているところはわかり切っているんですよ。だから長いという印象がどうしても出ると思うけれども、市民からもし出なければいいのかなと思うんだけどね。

○委員長（保坂芳子君） そういったご意見を聞いたことありますか、出た方で。

○議長（小浦宗光君） 前、竜王でやったときに、全部終わったときにもっと発言の時間が欲しかったというように、ちょっと俺たちも聞かれたけれども、それでも聞いたらうまくないんじゃないかというような意見があったんですよ。それで、やっぱりそれはこの前にもパワーポイントを少しカットするほかないなんていう意見も、だけれどもこの中に今、見せていただいても、カットしてもいいんじゃないというところもありますよね。だから見てもらって、カットするものは、できるものはカットしてある程度、余り長過ぎても全体の時間から考えてもそういう時間が長過ぎちゃっているんですけれども。

○委員長（保坂芳子君） 三浦委員。

○委員（三浦進吾君） ちょっと56ページを見ていただけますか。下から2段目に、これ私も気になっているんだけど、ちなみに甲府市は……

〔発言する者あり〕

○委員（三浦進吾君） 説明する説明の欄や、これは公費が月4万円、それで県議会は月、何と23万と。これも消しちゃったら、どんなように使っているか一度聞いてみたいと。

○委員長（保坂芳子君） これ、消すというような意見あるよね。

○委員（三浦進吾君） 前に私が言っている、これどうも抵抗があるんですよ。聞いてみたいなんて。

○委員長（保坂芳子君） どうですか、皆さん。

○委員（三浦進吾君） いやいや、これはね、委員長……

○委員長（保坂芳子君） 斉藤委員。

○委員（斉藤芳夫君） この政務活動費という部分を僕が何回も議会で聞くと思うんだけど、何でこんなことを言いわけみたいにべちゃくちゃ書かなければいけないんだと逆に思うんです。今まで初回、2回目ぐらいのときの説明のときに、確かにそれに対する反応はあつ

た。けれども、どうなんだろうねという気がするけれどもね。

○委員長（保坂芳子君） 要らないということ。

○委員（斉藤芳夫君） 要らないんじゃないかと。

○委員長（保坂芳子君） 要らない。

はい、松井委員。

○委員（松井 豊君） 無尽とかいろんな対応で、今回、富山ですか、ああいうような話が出たりして、おまえのところはどうだと、こういう話になるわけですよ。だから、やっぱりいつも解説をしなければならぬですよ。やっぱりこれはどこか消すにしてもね、やっぱり一丸でやっているよというのは、俺は抜かんでいいと思う。

○委員長（保坂芳子君） それでは、すみません、いろいろご意見はあるんですが、申しわけないですけども、こっちのほうで1個ずつ全部確認していきます。抜くか抜かないか。それで多いほうでやっていきますので、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） このカラーのほうでいいですかね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） それでは、1ページ……

〔「こっちがいい。説明文も入っているから」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） こっちのほうがいい。はい、じゃこっち、厚いほうです。

59ページありますけれども、1ページはいいですね、このままで。

2ページ、何とか地区の皆さんと語ろう、ここはそれぞれでまちづくり。ここはよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） 3ページ、本日の進め方。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） じゃ、これ下の説明は要するという。

4ページ。

〔「いいですか」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） はい、どうぞ。

○書記（山岡広司君） ここは議員さんが変わっているんですよ。ですので、全員で撮るか、ここを自己紹介のときに流しているの外すか、また全員で撮ったやつを載せるか、新しい

方もいるし、坂本さんもないんで、その辺、確認してもらって。

○委員長（保坂芳子君） どうしましょう。改選されましたので、1人補選で入りましたので、どうしますか。やらない、抜いちゃいますか。長いのでどっちみち抜きたいんだから抜いちゃいましょう。

〔「抜いちゃえよ、要らないと思う」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） 次、5番、きょうの班メンバーです。メンバーのことを説明しています。対話集会班メンバー、これは残しますね。

次、6ページ、議会の役割。6ページ、7ページ、8ページと、ここまでが議会の役割で入っています。これは、要らない。

〔「要るよ」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） 要る。どっち、あったほうがいいんじゃない。

〔「あったほうがいい」「これは基本ですから」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） 基本ですからね。

次、9ページ、市民、市長、議会の関係。これはどうですか、あったほうがいい。そして、9、10とそれが書いてありますけれども、どうですか、この三角の関係。いいですね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） 次、11ページ、ここで議会改革って……

○委員（齊藤芳夫君） 5、6、7、8の繰り返しがここへ9と10へ行っているんじゃないの。

○委員長（保坂芳子君） これ違うものですよ。11ページ、議会改革の取り組み、12ページ。これは何かホームページのことが次に改革のことが書いてありますね、13ページは。それで改革の取り組み、14、15、随分書いてありますけれども。14、15は取り組み……

はい、どうぞ。

○書記（山岡広司君） もし減らすということであれば、これ取り組みが16年からなっていますね。本来、ここからでもいいと思うんですが、もし削るといえばここを、この最後のほうを、定数54を28に、大きい改革とすれば改革ですよ、その辺でどうなんですかね。

○委員長（保坂芳子君） どうでしょう。

削りますか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） 12ページ、削る。

○書記（山岡広司君） どこを、ホームページを削るのですか。

○委員長（保坂芳子君） ホームページじゃないですね。

○書記（山岡広司君） 14ページ。

○委員長（保坂芳子君） そうですね。14ページ削ればいいね、これ。

○書記（山岡広司君） どこまで削るかですね。例えば議会改革、ホームページをリニューアルしましたとありますよね、12ページで。それで、13で報告して、14、15をカットすると、例えば17ページまでいくと、平成21年1月にはみたいな部分を飛ばすのかですね。

〔「ここら辺をみんなまとめてしまえばいいじゃない」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） いや、人数が減っていったというのは残したほうがいいですよ。人数が減っているというのは。中身はいいけれども、だから、14と21をくっつけてやったらどうなんですかね。代表質問とかそういうの写真を載せるのなどここに要らないと思うんだけどもね。選挙があって人数が減っていったというのがわればいいと思うんだけども。

○書記（山岡広司君） まず、12、13が、14からと一緒にかぶっているんで、12、13を削る。あと、後ろを前に。

○委員長（保坂芳子君） 14と21をくっつけたほうがいいじゃないの。

○委員（斉藤芳夫君） 12ページの後ろにもっと細かくページ数を少なくして入れればいいだな、要らないところみんな切っちゃって。

○書記（山岡広司君） この辺は、皆さん、私たち、ここに入れたくないんで、ここを切ってくれといえはここを外します。

○委員長（保坂芳子君） 代表質問とか意見交換とか要らない。初めて公募した写真の掲載とかも、要らないよね。

○委員（三浦進吾君） 要らない。

○書記（山岡広司君） 16ページまでで、これまでの議会改革の取り組みで、平成18年4月には第1回、28人で行われ、5月には審議会付託しました。こういうふうにするんですよ、これ見て。これを見てこういうふうにするんですが、この中で別にこれを、この項目を削っても読むのは倍ですからね。だから時間は、かからないということは、下の4のところを削っちゃうと、全体的に読むのもやめちゃうかもしないと、この議会改革特別の取り組みで4つ項目が出ているんですけれども、言っているのは28人になりましたみたいにしておかないと。だから、ここでホームページ解説を削ろうといっても時間的には変わらない。そう

ですよね。

○委員長（保坂芳子君） ホームページの開設は書いておいてもいいね。

○書記（山岡広司君） それはいいと思います。

○委員長（保坂芳子君） ホームページ、14ページは。

○書記（山岡広司君） だから極端な話、15ページを全部カットするかという話なんですよ。そうすると、その時間が削れる。ページの項目を1行削ろうというのは、時間的には全然変わってこない。

○委員長（保坂芳子君） 削るんなら全部。

○書記（山岡広司君） そうそう。

〔発言する者あり〕

○書記（山岡広司君） 代表質問はありますから、いいってことですね。会派の対話性を用いることによりというのは要らないですか。

〔「要らない」と呼ぶ者あり〕

○書記（山岡広司君） 要らないというと、15ページをとる。いいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○書記（山岡広司君） そうすると、16ページの写真も要らないということでもいいですか。

〔「いらぬ」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） 18ページまでいらぬと思う。

○委員（三浦進吾君） もう代表質問も1ページだけでやって、21の写真も……

〔発言する者あり〕

○書記（山岡広司君） これ12、17ページ、とる。

〔発言する者あり〕

○委員長（保坂芳子君） ここはダブっているね。19じゃなくて21。21があるから……

〔発言する者あり〕

○委員長（保坂芳子君） 14から21……

○書記（山岡広司君） これ19をとる。

20も要らない。

21から4月には第2回定例……、で22人で行われと……

○委員長（保坂芳子君） そう、平成22年4月にはじゃないだろうね。平成22年4月には第2回市議会議員が決まっているから。

そうすると、22は……

〔「要る要る」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） 22は要るね。

14から21、22それで一問一答は入れたほうがいいんだろうね、この説明は。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） それでインターネット配信につながって。

○書記（山岡広司君） 新しいほうをとっておいたほうがいいんじゃないですか。

○委員長（保坂芳子君） そうだね。あとは別にいいでしょう。

こんなところでね。これでどのぐらい。

〔「そんなにはないよね」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） それでも5分ぐらいある。

○書記（山岡広司君） 5分もいかないかもしれない。二、三分はいつているでしょうかね。

○委員長（保坂芳子君） じゃ、ほら34ページのラジオ体操の開会前、閉会時……。

○委員（松井 豊君） 35ページ。

○委員長（保坂芳子君） ラジオ体操ね。

○委員（松井 豊君） これもカットしてもいい。

○委員長（保坂芳子君） カットしちゃうの。

○委員（松井 豊君） 両サイドの写真は要らんでしょう、35ページの。36ページのラジオ体操を実施しましたとあるから。

○委員長（保坂芳子君） 三浦委員。

○委員（三浦進吾君） これもこういう言い方もあるけれども、ここに甲州弁ラジオ体操とあるんだから、これを削っちゃうと市民の人なんてわからんと思うから、これは34、35は残さんとまずいと思いますよ。

〔発言する者あり〕

○委員長（保坂芳子君） この辺、何か、その次の34と36は同じだねと言われる、議会改革特別委員で24項目は必要だということだね。そうなると変えなくたっていいと思うよ。

○委員（三浦進吾君） 変えられれば変えるし、変えなくたっていいしね。

○委員（松井 豊君） 34、36は一つにまとめられれば。持ってこられないでしょう、だって項目は別になっている関係で。

○書記（山岡広司君） だから、4のところが違うんでしょうね。

○委員長（保坂芳子君） それでね、やっぱり余りまた一緒しちゃうと何かぼたぼたしてくるんだよね。これはこれだけの説明、あとは頭につけ加えればいいんで、だからよくできているんだよ、これ、結構。

○書記（山岡広司君） 例えば、34には26年6月というのはなくて、6月が次に出てきたときにここで説明しているんですね。

○委員長（保坂芳子君） 議会改革特別委員会、これを言いたいわけだから、36で。
これは、それ以上はいいか。どうしますか。

〔「でしたら、これは要らない」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） だから、38、39と。

〔発言する者あり〕

○委員長（保坂芳子君） 議会災害対策本部設置というのは残したほうがいい。

○委員（三浦進吾君） 残したほうがいいですね。

○委員長（保坂芳子君） 奨励賞というのは要らないけれども、この災害対策本部は入れたほうがいい。

○委員（松井 豊君） そうですね。41ページに奨励賞がある、これが入っているからね。

○委員長（保坂芳子君） それでそれ1個ずつ丁寧に説明するんだよな。これわざわざ説明、そうね、これ行き過ぎちゃうとわかりづらいよね。だって瞬間に見るのはそれしか見ないから、時間かかるといったって。

これ、そのとき見るのは、例えばあれなんじゃないですか、36で映すでしょう、4つ。38は抜くんだよね、39。40のときにこれだけ映したほうがいいんじゃないの、災害対策。抜くのは難しい、消すのは。

○議会事務局長（岩下和也君） パワーポイントの構成を。

○委員長（保坂芳子君） そうですね。

○議会事務局長（岩下和也君） いや、難しくない。

○委員長（保坂芳子君） これなんて上がらないほうがいいじゃない。

○議会事務局長（岩下和也君） そういうことは。

○委員長（保坂芳子君） それから、42だってそうじゃない。7月、8月とっちゃったほうがいいじゃない、1個だけ。

〔発言する者あり〕

○委員長（保坂芳子君） どうなっているの、これ。これだけが入ってくるの。

○書記（山岡広司君） 何もないところにこれがそうっと入ってくるからということ。広いところにそれだけがぼんと入ってくる。

○委員長（保坂芳子君） だって、この下って要らないじゃない、今説明したの、上のほうで。

〔発言する者あり〕

○書記（有野恵里君） 画面上は1個ずつ、こう……

○委員長（保坂芳子君） 入ってくるんだよね。

○書記（有野恵里君） 印刷すると何か全部がこう混ざって……

○委員長（保坂芳子君） 違うんだね。

○書記（有野恵里君） 見えたんですけども、パワーポイントの場合は……

〔発言する者あり〕

○議会事務局長（岩下和也君） だから、やった項目は出したとしても、あとはそれを説明するかしないかによって時間がかかるかはあれだと思うんです。今言ったように。だから、やったことを結果としても時間の短縮にはならない。

○委員（斉藤芳夫君） 読まなければならない。

○議会事務局長（岩下和也君） そうです。説明しなければ。

○委員（斉藤芳夫君） 読まなければ意味がないということ。

○委員長（保坂芳子君） でも、これこの順番で出てくるんですよ。

○書記（山岡広司君） 一遍にそろえるのじゃなくて、読んでいるときにというか、とか一定の項目が入ってくる。

○委員長（保坂芳子君） この写真はアップにするの。

〔発言する者あり〕

○委員長（保坂芳子君） 消えちゃうんだよね、だからね。

○書記（山岡広司君） 写真の表記が出れば消えちゃいます。

○委員長（保坂芳子君） 消えちゃうの。

○議会事務局長（岩下和也君） そうすると、また次のページに行くときに……

○委員長（保坂芳子君） 次にいくと、すーっとこう入ってくるわけ。

○書記（山岡広司君） どっちも説明する、しないの関係なので、これが今度、市民、後で見るのに、こういう改革しましたというのがこれ見れば出るんですよ。だから、逆にカットを読むところだけを読まないで、これがどんどん……、これだとどうしようもないか。

○委員（有泉庸一郎君） 市民の人には聞かせても、これが……

○書記（山岡広司君） これを読んで、例えばこういうふうは何ページカットしちゃったらこれ完全に消えますから。

消えるけれどもどこかで出てくるのか。

○委員長（保坂芳子君） だから、やっぱりそれでやったほうがいい。それでカットするところをカットして……

○書記（山岡広司君） 同じだから。

○委員長（保坂芳子君） いやいや、だからそれはそちらでやってもらうというので。

○書記（山岡広司君） いやいや、同じものですから、これ。

○委員長（保坂芳子君） 同じものじゃないよ。

○書記（山岡広司君） 同じもので、下に行ったら読む、ここにも書いてあるだけだから。

○委員長（保坂芳子君） ああ、そうなんだ。

○議会事務局長（岩下和也君） このパワーポイントのこういうものを削るかという話じゃなくて時間の短縮だから、そのことについて説明をするかどうかを見るのであればこっちのほうがわかりやすい。

○委員長（保坂芳子君） どこまで行ったっけ。内容確認まで行ったんだね。

○議会事務局長（岩下和也君） 今、42まで。

○委員長（保坂芳子君） 42までね。

42は決算委員会のことで、要望の提出は入れたほうがいいですよ。

○委員（松井 豊君） そうですね。これは新しいことだから。

○委員長（保坂芳子君） そして、対話集会が26年11月、これも入れるよね。対話集会もね。1月、下今井、これ対話集会……

○書記（山岡広司君） やったじゃないですかね。

○委員長（保坂芳子君） 北部公民だから環境ね。そして、下今井のやつ、初めての対話集会。リニューアルは入れますか、これ。

○書記（山岡広司君） 入れたほうがいいと思う。

○委員長（保坂芳子君） これは全部同じなんだよね、クリックするものはね。何かリニューアルしたというだけだよ。変わったわけじゃないよね。

○書記（山岡広司君） 変わりましたよ。

○委員長（保坂芳子君） リニューアルのページが変わったということ。

○書記（山岡広司君） そうそう。

- 委員長（保坂芳子君）　そして、対話集会でしょう。検証。51ページはどうですかね。
- 書記（山岡広司君）　あと、ここに、50ページの下には追加で4年後の対話集会が予定でここにいますけれども、ここにに入れて、その前に1回あれを入れます、公用車、28年4月。
- 委員長（保坂芳子君）　そうですね。じゃ、それを入れると。
51ページはどうですか。
- 議長（小浦宗光君）　53ページにもありますように、できないこともあるとは、これからは入れないほうが良いような気がする。
- 委員長（保坂芳子君）　でも、こういうことも考えているというのはどうですか。
- 議長（小浦宗光君）　でも、まだこれ今しちゃうと本当にやるのかとなっちゃうんですよ。もうそういうふうにしちゃうと。
- 委員長（保坂芳子君）　どうしますか。
- 議長（小浦宗光君）　これからの何か、載せることはないと思うけど。
- 委員長（保坂芳子君）　決まってから載せるでいいですか。
〔「はい」「いいですよ」と呼ぶ者あり〕
- 委員長（保坂芳子君）　いいですか。
有泉さん、いいですか。
- 委員（有泉庸一郎君）　はい。
- 委員長（保坂芳子君）　それから傍聴人という、ここまでは載せたほうがいいですね。
- 委員（松井 豊君）　それは必要だね。ぜひそこまで載せてもらいたい。
- 委員長（保坂芳子君）　52ページまではね。
じゃ、53、次、政務活動費のことが書いてありますけれども。最初、載せないという意見がありましたね。
三浦委員。
- 委員（三浦進吾君）　いや、載せていいんですけども、ただ、56ページの……
- 委員長（保坂芳子君）　さっきのね。
- 委員（三浦進吾君）　これやっぱり抵抗あるんだよね。ちなみに甲府市は月額4万、それで県議会の議員の何と月額23万を何に使っているか一度聞いてみたい。これが何か俺、いつも抵抗がある。
- 委員（松井 豊君）　だから、額だけ言えばいいじゃないですか。

- 委員（三浦進吾君） いいじゃない、こんなの削除で。こんなの要らないじゃない、削除。削除じゃなくて、この額だけ削除でいいじゃない。ちなみにというのは、どう。俺たちは1万円って分かっているんだから。
- 委員長（保坂芳子君） 今はもっと細かくでもあれですよ。今はもっと細かくて。
- 委員（三浦進吾君） 県議会はそしたらこれは削除しましょう。
- 委員長（保坂芳子君） 削除しちゃう。
- 委員（三浦進吾君） ここにちなみにというのを……
- 委員長（保坂芳子君） ここの部分でしょう。じゃ、ここの部分はどうしますか。消しちゃっていいですか。
- 委員（三浦進吾君） 削除してください。
- 委員長（保坂芳子君） 甲府と南アルプスは削除。
- 委員（三浦進吾君） いや、そんなところのはいいいから。きのうの新聞にも載っているだもの。読めばわかるじゃない。きのうの新聞にみんな山梨県の市議会のことは、政務調査費は幾ら払っているかとか、会派でもらっているのか個人でもらっているのか、みんな載っているだもん。
- 委員長（保坂芳子君） あれ、載せちゃおうか。
- 委員（三浦進吾君） いやいや、これはマスコミが書いたから、みんな調べて。
- 委員長（保坂芳子君） いや、だからあれを載せたらいいじゃない、ここに、政務活動費。
- 委員（三浦進吾君） それで、領収書は発行しろとか、いろいろきのうの新聞を見てもらえば載っています。じゃ、どうでしょう、削除で。
- 委員長（保坂芳子君） ここはいいんじゃない、削除で。
- 委員（三浦進吾君） この行だけ。
- 委員（齊藤芳夫君） これだって要らないじゃない。
- 委員（三浦進吾君） 勉強会、自己負担が必要ということもあるということで、いいじゃない、載せておけば。
- 委員長（保坂芳子君） じゃ、甲府市のここの3行、これは抜きますけれども、いいですか。
〔「はい」と呼ぶ者あり〕
- 委員長（保坂芳子君） これ、きのうのだと思うんですけども。
- 委員（三浦進吾君） 新聞に載っていました。
- 委員長（保坂芳子君） 今あれですよ、日当をどうするかって。日当は領収証はいらない

と、問題になっている。

○議長（小浦宗光君） この58ページも要らないでしょうか。

○委員長（保坂芳子君） 議員年金制度。

○委員（三浦進吾君） そうだよ、57ページ要らない。これどっちみち入っちゃうからね。
57は要らないということだよ。

○委員長（保坂芳子君） いや、これは載せたほうがいいんじゃないの。年金制度がなくなっ
たというのは歴史的なところだもん。

○委員（三浦進吾君） これは委員長、まずいよ。

○委員（松井 豊君） やっぱり今話題になりました。全く知らないんだから。

○委員長（保坂芳子君） いいですよ、あるんだから。これは入れたんですよ。

じゃ、今の政務活動費は3行抜かすと。

あとはそのままでもいいですかね。これ26年度の収支報告だけれども、どうしよう。27年
にしますか。それとも、こんなの載せない。

○委員（三浦進吾君） いや、わかるといえば載せちゃう。

○委員長（保坂芳子君） 載せたほうがいいですか。

どうしましょう。27年に……。

はい、松井委員。

○委員（松井 豊君） もし、載せるは載せたほうがいいですが、26年でもいいし、27年でも
もいいし。

○書記（山岡広司君） これは27年度載せます。

〔「じゃ、いいじゃない。問題なく」と呼ぶ者あり〕

○書記（山岡広司君） それで、すみません、58の年金制度で、4のところに詳しい内容に
ついては先ほどお配りした資料って、これ抜かせてもらっていいですか。廃止されたので。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） 廃止されましたので、そうですね。

○書記（山岡広司君） はい。

○委員長（保坂芳子君） ということなんですが……

○書記（山岡広司君） 最後に62ページなんですけれども、これ写真を撮らせてもらって
いいですか。新しい物を載せないといけないんで、ただ、メンバーをこうやって載せるだけ、
わかりづらいんで名前だけをこう載せてもらおう。写真を外して名前だけこうする、今回、本

日の……

[発言する者あり]

○書記（山岡広司君） いいですか。

○委員長（保坂芳子君） 写真なしでということね。

じゃ、そういうことで、今ちょっと……

○委員（斉藤芳夫君） この前の61ページのラジオ体操は入れなければ。

○委員（三浦進吾君） これは2回も要らない。

○書記（山岡広司君） これもどうしますか、ラジオ体操は載せますか。

○委員長（保坂芳子君） これ2回出てくるんだっけ。

○書記（山岡広司君） 前で最初に出ていますね。

○委員（三浦進吾君） 2回も要らない。

○委員長（保坂芳子君） 要らない。抜いちゃっていい。

○委員（斉藤芳夫君） 時間がないから、先にいこう。

○委員長（保坂芳子君） じゃ、今言ったところでよろしいでしょうか。ありがとうございます。
した。

○書記（山岡広司君） じゃ、確認しましょう。いいですか。

○委員長（保坂芳子君） はい。

○書記（山岡広司君） まず、4ページの写真をとります。12、13……

[発言する者あり]

○書記（山岡広司君） これはもう何も入れないからね、これは全部何もなしで。

[「何もないところで自己紹介をする」と呼ぶ者あり]

○書記（山岡広司君） はい。

それで、12、13、ここで14は載せて、15、16、17、18、19、20まで載せる。それで、21
からずっと入って、37まで、それで38……

○委員長（保坂芳子君） あれ、22は出たの。

○書記（山岡広司君） 22。

○委員長（保坂芳子君） 一問一答方式はどこかで残る。残ればいいよ。

○書記（山岡広司君） 22はとらないですよ。

○委員長（保坂芳子君） とらないよね。

[「とらない」と呼ぶ者あり]

○書記（山岡広司君） それでずっとって、38、39をとりますよね。そして、ずっといきまして、50に追加を1つさせてもらって、51ページはそういったお話も入って、52は平成27年を入れさせてもらいます、傍聴の関係をね、数を。53はとって、55は27年の新しい政務活動費の交付と、55の下から5、6、7をとります。「ちなみに」をとります。それで57がとれて、58が詳しい内容をとらせてもらって、61、62の写真をとるということよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） よろしいですかね。

それから、政務活動費とはということ、説明はこれでいいですよ。普通に一般的に政務活動費とはということで書いてある説明ですけれども、これはこのままでいいですよ、内容は。ほかにつけ加えたり、1万円じゃ少ないとかということの、多くくださいとか、つかないですね。

○議長（小浦宗光君） 少ないですね。

○委員長（保坂芳子君） 今、少ないですね。

〔発言する者あり〕

○委員（松井 豊君） ここは具体的に説明していただいて……

〔発言する者あり〕

○委員（有泉庸一郎君） もし必要な場合はね、こういうのでどうですかね、質問やったほうがいいですよ。そのほうが。先に進まなくても。そうしたら、改めて取り上げなくて。

○委員長（保坂芳子君） でも、これ一番先にやったんですよ。

○委員（有泉庸一郎君） だから一番最初に。

○委員長（保坂芳子君） もうここで始まっちゃう。こういうこともあるということで。

〔発言する者あり〕

○委員（斉藤芳夫君） これ、お金の問題だけじゃないんだよね、話は。

○委員長（保坂芳子君） ああ、そう。

○委員（松井 豊君） これ終わったところで、何か質問、意見あったでしょうか、その他のところから出てくる話かも。

○委員長（保坂芳子君） 何かありますか。

いいですか。

じゃ、パワーポイントについてはよろしいですね。これでどのぐらい短縮できるかわからないけれどもね。

○委員（有泉庸一郎君） これは、実際はこっちが一方的に説明しているんだよね。本当は流れとしては、時間かかるかもしれないけれども、本当はね。本当はだって……

〔「じゃ、そこで質問すればいい」と呼ぶ者あり〕

○委員（有泉庸一郎君） うん、本当はただバババと流すんじゃなくて、本当はそのほうが、中には気がついていろいろ質問する人がいると思うんだよね。そういうほうが本当は……

○書記（山岡広司君） それが59ページを見ると、「以上、スライドの説明を終わらせていただきます。ここで、ただいま説明についての質問」、だからフリートークに入る前に一応ここでもらっているんで、この議会に関して、例えば政務活動費についても、もちろんここでもいいし、その後、まちづくりに入ってもいろいろ質問が出ると思うんですが、一応、流れとして、説明に対して質問を1回一応ここでもらっています。

○委員長（保坂芳子君） あるんだね。

○委員（有泉庸一郎君） ただ、進め方として、いや、俺、個人的な意見だからあれだけれども、要はこういうところで余りパッパッパッといくんじゃなくて、最後にこう入れるんじゃないかって……

〔発言する者あり〕

○議会事務局長（岩下和也君） 今までこうじゃなかったけれども、一問一答方式を用いましたので、説明したときに意見とか聞いておきたいことがあったら、ここで1回とめると……

○委員（有泉庸一郎君） そう。それで、もし聞くのがあればの話だけれども、なければ無理してあれだけれどもね。

○委員長（保坂芳子君） この中では1回、ここに入って、質問をお願いしますよね。

○書記（山岡広司君） 最後だから。

○委員長（保坂芳子君） 最後だからね。

○委員（有泉庸一郎君） それは全体としては1回だけだから、だから、この説明は長いじゃない、これだけの時間ずっとやってきて、その都度、もしやるのであればだよ、そうすればいろんな問題を、これじゃ、それだって要するに対話集会の趣旨だからね、そういうことが。本当は時間がどうのこうのじゃなくて、そうしたら中身がその中に……

○委員長（保坂芳子君） 斉藤さんにぜひお任せいたしたいと思います。そのような使い方。じゃ、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） それでは、あとアンケートもつくってありますので、アンケートの確認と議会だよりの確認ということで、まずアンケートの確認をしたいんですが、アンケートありますよね、そこに。何かありますでしょうか。

○委員（松井 豊君） これは去年と同じだよね。

○委員長（保坂芳子君） 去年のですかね。

○書記（有野恵里君） 去年のです。

○委員長（保坂芳子君） 去年のだそうです。

何かありますか。

これは結構、アンケートの結果を出してですよ。

じゃ、1番からやっていきますか。

年代、こういった中でいくと20代、30代、40代、50代、60代以上。いいですよ。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） 性別、いいですね。

職業。職業はこんなものでいいですか。会社員、自営業、公務員、主婦、無職、その他でいいですかね。何か入りますかね。

本日の対話集会の開催を何で知りましたか。回覧、知人、友人、その他。広報を見た。

○議会事務局長（岩下和也君） その他に議会広報を入れませんか。

○委員長（保坂芳子君） 議会広報を入れますか。

○書記（山岡広司君） 今回、載せますからね。今まで載せなかったのが。

〔「そうですね」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） 議会広報の欄を入れると。

次に、3番、対話集会に参加して、今後の議会、議員に求めることは何ですか。情報公開、説明責任、資質の向上、その他。反対はないですね。

こんなものでいいですよ。統計とか集計してみて、何か気がつかれたことなんかもしあれば、事務局のほうでも言ってください。

いいですか。

〔発言する者なし〕

○委員長（保坂芳子君） 次、4、今後も参加されますか。する、しない、どちらでもない。

どちらでもないって、わからない、その他。参加したい。いいですね。

5番、今後取り上げてほしいテーマは。1番、福祉、教育・子育て……

○委員（有泉庸一郎君） 今、議会日より、去年のやつあるか。

〔発言する者あり〕

○委員長（保坂芳子君） はい、三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 4番の環境があって、その前に参加する、参加しないとその他にしておけば。

○委員長（保坂芳子君） 参加する、しない、そうだよ。どちらでもないというのは何かあれだよ。

○委員（有泉庸一郎君） わからないのほうがいいかもしれない。

〔発言する者あり〕

○委員（三浦進吾君） いや、じゃ、その他にしておけばいいから。

○委員長（保坂芳子君） その他でいいか。

○委員（三浦進吾君） その他で。

○委員長（保坂芳子君） 4番、参加するかしないか。

○議会事務局長（岩下和也君） どちらでもないというのは、それは削除で。

○委員長（保坂芳子君） 何か取り上げてほしいテーマで。

〔発言する者あり〕

○委員（有泉庸一郎君） その他なんて、参加するのにその他もへったくれもない。

○委員（三浦進吾君） じゃ、それも要らない。

○委員長（保坂芳子君） 強いて言えば、ほかに何か書いてあればですけどね。こんなところでもいいですかね。

まちづくりってないから。その他の欄があるから。

その他、ご意見、ご提案がありましたらご自由にお書きください。

〔発言する者あり〕

○書記（山岡広司君） これ一番上の議会と語ろう竜王地区、ここも変わってきたこれと一緒にいいですか。それぞれの班長がやってくれた、例えば新田だと新田にすればいいということね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） これ全員に配るんですよ、じゃアンケートは。

○書記（山岡広司君） そうです、来た人に全員。

○委員長（保坂芳子君） 来た人にはね。

はい、松井委員。

○委員（松井 豊君） 1点、戻って悪いんですが、職業ですが、団体職員というものがあるけれども、例えば農協だとか福祉センターとかというのは団体ですよ。案外、団体職員はいるんですよ。会社員でもないし自営業でもないし公務員でもないしとなると、結構いるんですよ。

○委員長（保坂芳子君） そういう項目があればいいかな、団体職員。

○書記（山岡広司君） 公務員の後に入れておきますか。

○委員（松井 豊君） 僕は、入れていいような。結構いますよね。アンケートでもあるからね、団体職員って。

○委員長（保坂芳子君） 無職という書き方がちょっとあれだけれども、無職は無職だよ。

○委員（松井 豊君） 年寄りは無職だし。

○委員長（保坂芳子君） それはそれでいい。

じゃ、ほかになければ以上です、アンケートの関係は。

それでは、議会広報の載せ方というか、ああ、それですね。

○書記（山岡広司君） これはもう終わっちゃっているから。

○委員長（保坂芳子君） ああ、もういいですね。こんなふうに載りますよということですので、見ておいてください。

〔発言する者あり〕

○委員長（保坂芳子君） こんなふうに載るといいますよね。載っています、一番最後に。よろしいでしょうか。

じゃ、決定させていただきます。ご報告させていただきました。

よろしいですか。今までの何かありますか。

決定した内容については、10月19日の全員協議会において報告して確認をさせていただきます。

なお、報告後、必要がある地区においてはリハーサルをお願いし、本番を迎えていただきたいと思います。出すときにリハーサルをいついつしたいということまで事務局のほうに連絡ください。

はい、何でしょうか、三浦委員。

○委員（三浦進吾君） このアンケートでちょっと気になったところがある。今、「議会と語

ろう」と書いてあるんだけど、そのアンケートだけでいいと思うんです。例えば竜王地区とか新田地区とかと入れた場合に、それ以外のもし来ていた場合に、アンケートに載せられない人が出たなんていえば失礼になるじゃない。だから、ただ「議会と語ろう」アンケートだけでいいのかなと思うんですけれども、どうでしょうか。

○委員長（保坂芳子君） 後で集計するとき大変じゃない。

○委員（三浦進吾君） いえいえ、だってその地区に来て、例えばそれ以外の人があるかも、新田だったら新田以外の人があるじゃない、団子新居とか。そういうときに、新田じゃないから書かんと書いて書かんと、やっぱりせっかくのアンケートがもったいない。

○委員長（保坂芳子君） これ、アンケートは集計のとき別々に集計するんですよ。別に困らないでしょう、こっちはこっち、こっちはこっちとかそういう皆さんの、比較的を除いてあってね。

〔発言する者あり〕

○委員長（保坂芳子君） じゃ、そういうふうにしますか。ただのアンケートにすると。いろんな地域を入れない。

〔発言する者あり〕

○委員長（保坂芳子君） それで来るの、本当に。

○委員（三浦進吾君） だって、今まで来た人がよそへ行く人もあるじゃない。

○委員長（保坂芳子君） ああ、本当。

では、その他、委員よりありましたらお願いいたします。

ほかに何かありますか。

じゃ、山岡係長。

○書記（山岡広司君） 確認をさせていただきますけれども、きょう決まった内容について、19日の全員協議会で委員長がまず報告をする内容ですけれども、それぞれの地区の日と場所と時間、当番、役員、役割についてはそれぞれの委員さんの班長にお任せしているんで、その報告はしません。あと、間に合えば、きょう言われたこのパワーポイントの直しをもしあれならコピーをして、内容は今お配りした内容と変更させていただきましたみたいな報告でよろしいでしょうかね。

○委員長（保坂芳子君） はい。

○書記（山岡広司君） それを委員長から報告してもらって、それで、なお地区でリハーサルをしたい地区については事務局のほうへ言っていただいて、日程を調整し、リハーサルをし

ていきたいと思います。そういう報告でよろしいでしょうか。

○委員（有泉庸一郎君） いいよ、それで。

○委員（斉藤芳夫君） あさってまでにできるということだね。

○書記（山岡広司君） それをうちのほうでやりますので。

○議長（小浦宗光君） 今からやるの大変だよな。

〔発言する者あり〕

○書記（山岡広司君） 白黒になるかもしれないですけども、全協までに配るように、今の形で委員長の報告にこれを、これと要綱をつけさせてもらおうと。こういう感じになると確認して、要綱を。

要綱をそれぞれまちづくり、まちづくりと入れて、この要綱とパワーポイントのこれをつけて、委員長の報告ということでさせていただきますので、よろしくをお願いします。

○委員長（保坂芳子君） この準備の用品というのはあれなんだよね、みんなここまでやっていただいているんですよ。

〔発言する者あり〕

○委員（三浦進吾君） じゃ、これでお願いします。

○委員長（保坂芳子君） じゃ、その変更も全部やっていただくということなんで、事務局で、申しわけないですね。本来は議員がやらなければいけない……

○書記（山岡広司君） 本来はそうですね。

○委員長（保坂芳子君） ところをやっていただいて、ありがとうございます。お世話になります。

じゃ、事務局からはいいですね。

次回の日程ですけども、また後日連絡します。

以上をもちまして、本日の日程は全て終了しました。

これをもちまして議会改革特別委員会を閉会いたします。

大変ご苦労さまでした。

閉会 午前11時58分